

授業科目

家族心理学

【担当教員名】 遠山 孝司	対象学年	2	対象学科	社会
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標 : G I O>】

子どもたちが生まれて最初に出会い、また私たちのより身近な人間関係のひとつとして存在するのが「家族」である。また、「家族」は人の生涯発達に伴いその機能や家族関係そのものも変化する発達していくものである。本講義では、現代の社会における家族、中でも親子という関係性を扱扱う様々な研究について概観し、その機能や役割について考察することを目的とする。

【<学習目標>又は<行動目標 : S B O>】

- ① 「家族とは何か」「親子とは何か」について、個人の経験による主観的理解の枠を超えて考察する。
- ② 家族の機能や家族関係、親子関係の発達についての理解を深める。
- ③ 家族の諸相、親子の諸相について理解を深める。
- ④ 実践に活かすという視点から研究を理解するようリサーチリテラシーを身につける

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	家族という関係の発達の変遷		講義, ミニレポートなど
2	兄弟姉妹と性格の関係-出生順序で性格は違うのか?-		講義, ミニレポートなど
3	機能不全家族と問題を起こす子ども		講義, ミニレポートなど
4	家族の貧困は心理発達に影響するか?		講義, ミニレポートなど
5	両親の争いは子どもの幸せに影響するのか?		講義, ミニレポートなど
6	「傷つきやすい子ども」とはどんな子どもたちか?		講義, ミニレポートなど
7	体罰は心理的に有害なのか?		講義, ミニレポートなど
8	血のつながりのある者の方がよい親になれるのか?		講義, ミニレポートなど
9	女性の方が男性よりもよい親になるのか?		講義, ミニレポートなど
10	親子関係がよいと子どもは親の期待に応えるようになるのか?		講義, ミニレポートなど
11	両親の離婚は子どもにとって有害か?		講義, ミニレポートなど
12	親の再婚と新しい親が子どもに与える影響		講義, ミニレポートなど
13	母親が働きに出ることの子どもへの影響とは?		講義, ミニレポートなど
14	研究を実践に活かすために注意すべきこととは何か?リサーチリテラシーについて		講義, ミニレポートなど

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書	子どもの養育に心理学がいえること-発達と家族環境-	新嶋社		
	子育ての大誤解 -子どもの性格を決定するものは何か-	早川書房		
その他の資料	教科書は特に指定しない。必要に応じてレジュメ・資料を配布する。			

【評価方法】 出席状況・講義内のミニレポート ・期末試験などを総合して評価する	【履修上の留意点】 初回の授業時間内に連絡する。
---	-----------------------------